

## 令和2年9月定例会へ向けての予算要望

新型コロナウイルス感染症拡大の勢いが再び懸念される中、本市においては中小企業や小規模事業者を含め、多くの市民が感染防止対策を講じながらも不安を抱えて生活をされています。

よって、公明党奈良市議会議員団は、地方創生臨時交付金等を有効活用すべく、市民の切実な声を集約し、奈良市の支援策として、この度四度目の要望提案をいたします。

仲川市長におかれましては、市民の不安を少しでも払拭し生活を守って頂けるよう、以下の5項目について次期定例会における予算案に反映して下さるよう強く要望するものであります。

令和2年8月20日

### 記

- 1、 子育て世代以外へもプレミアム付き商品券発行を拡大（新型コロナウイルス感染症の更なる拡大に伴い自宅から通学の大学生や高齢者世帯等へも支援を拡大し、飲食店支援を拡充）
- 2、 奈良市の子育て及び福祉、教育施設等の空調設備の修繕及び換気装置の設置(民間施設には6月補正対応済み)
- 3、 本市の公立教育・保育施設へ非接触型体温計のクラス数を基準とした配備
- 4、 奈良市の新しい観光スタイル「マイクロツーリズム」を進めるため、市内の観光事業と連動したキャンペーンの実施として市内在住者に対して市内宿泊と宿泊施設が提供する飲食サービスを利用するときの補助制度の構築とそれを周知するための費用(HPのカスタマイズ、PRなど)の確保
- 5、 テレワークする個人(家族)に向けて、奈良市への移住促進を勧めるため、空き家バンク制度等を活用したマッチング費用の補助、通信設備等の補助制度の構築と事業を宣伝するためのHPのカスタマイズ費用の確保